

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道455号 <small>きたやま</small> 北山バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 岩手県
<b>起終点</b> 自 岩手県盛岡市北山 至 岩手県盛岡市三ツ割	<b>延長</b> 3.7km	
<b>事業概要</b> 一般国道455号は、岩手県盛岡市を起点とし、岩泉町に至る延長約104kmの幹線道路である。北山バイパスは、盛岡市北山地区から同市三ツ割地区の交通渋滞の緩和により円滑な交通を確保し、幹線道路の機能向上を目的とした延長3.7kmの4車線道路である。		
S59 年度事業化	H1 年度都市計画決定 (H2 年度変更)	S60 年度用地着手
S61 年度工事着手		
<b>全体事業費</b> 174億円		<b>事業進捗率</b> 98%
<b>計画交通量</b> 31,400台/日		<b>供用済延長</b> 2.3km
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 56.2	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 5.0/250億円 (事業費: 2.7/244億円 維持管理費: 2.3/5.3億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 279/506億円 (走行時間短縮便益: 278/496億円 走行費用減少便益: 0.40/7.2億円 交通事故減少便益: 0.00/2.3億円)
<b>基準年</b> 平成20年		
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満の区間の旅行速度の改善が期待） ・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する） 他11項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地元（盛岡市）などから早期の整備を強く要望されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 桜台ニュータウンの分譲開始、洞清水団地、大平団地の開発など郊外の住宅団地開発が著しい。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在までに約2.3kmを供用し、事業進捗率は約98%で全線に渡り事業が進捗している。主な残事業はトンネル設備工等であり、平成21年度に約1.4kmを供用し事業完了となる見込みである。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成21年度の完成を目指し事業の推進を図る。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> トンネル照明の灯具見直し等により、コスト縮減に努めている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。